

(様式 1 - 1 申請書)

5 商 第 850 号
令和 6 年 1 月 9 日

内閣総理大臣 殿

南会津町長 渡部正義

地域魅力向上・発信事業計画の提出について

福島再生加速化交付金（福島定住等緊急支援（地域魅力向上・発信支援））
実施要綱第 4 の 2 の規定に基づき、地域魅力向上・発信事業計画（令和 6 年
度）を提出します。

情報発信等戦略の期間			
令和5年度～令和7年度まで			
情報発信等戦略			
① 情報発信の内容			
<p>福島県の南西部に位置し、栃木県（日光市、那須塩原市）と隣接している本町は、鉄道1本で東京都（浅草）とつながり、首都圏から電車で会津地方を訪れる際の玄関口となっているため、本町の安全性や魅力等の情報を効果的に発信することで、多くの来訪につながることを期待できる。</p> <p>そこで、首都圏の高齢層や全国の若者層など、それぞれ事業ごとにターゲットを絞り、「知ってもらう」「食べてもらう」「来てもらう」という3つの視点で、地酒をはじめとする町特産品の美味しさや安全性、町の魅力などを発信し、風評の払拭や認知度の向上、誘客の促進などを図り、さらには町全体のイメージアップを図る。</p>			
② 南会津町の情報発信体制			
<p>【商工観光課商工振興係・観光交流係】 総合政策課広報情報係と協力し、町の特産品や観光資源を通じた風評払拭と魅力発信等に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏における町の情報発信イベントの開催 ・マスメディアを通じた観光資源や特産品の広告掲載 ・町の魅力度を高める新たなPRコンテンツの制作 ・地域資源発掘や旅行商品開発のためのモニターツアー等の実施 <p>【南会津町観光物産協会・会津高原スキー場協議会】 行政と連携し、町の特産品や観光資源を通じた風評払拭と魅力発信に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏等における物販イベント等への参加 ・町の魅力を発信するパンフレットの作成 ・インフルエンサーを活用した情報の発信 			
③ 情報発信等の戦略目標			
<p>情報発信の目的やターゲット等を明確にした上で、適切なツールによる情報発信に努める。今回の計画では、人口が集中する首都圏はもとより、さらに広いエリアを対象として効果的な情報発信に取り組む。</p> <p>また、情報発信を通じて、風評の払拭と本町の認知度向上を図り、本町の観光誘客の促進につなげていく。</p>			
④ 全体工程表			
	令和5年度	令和6年度	令和7年度
首都圏イベントによる情報発信	物販イベント パンフレット制作	物販・体験イベント メディア等向けモニター ツアー	一般向けモニター ツアー モニター ツアーコンテンツ形成
委託業者マスメディア活用による情報発信	広告掲載	ファミトリップ・モニター ツアー、アンケート調査	旅行商品等開発
インフルエンサー活用による情報発信	インフルエンサー情報 発信	インフルエンサー情報 発信、イベント開催	インフルエンサー情報 発信、イベント開催

(様式 1 - 3)

368 南会津町 地域魅力向上・発信事業計画 令和5年度～令和7年度

令和6年1月9日時点

(単位：千円)

No.	事業番号 (注1)	事業名 (注2)	事業 実施 主体	各年度の交付対象事業費(注3)					総交付対象事業費	全体事業 期間 (注4)	備考
				令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度			その他(注5)
1	A - 1	南会津町魅力発信事業	南会津町			(10,234)	15,495	17,330	(10,234) 32,825	R5 ~ R7	
				<0>	<0>	<10,234>	<15,495>	<17,330>	<43,059>		
2	-								(0) 0	~	
				<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>		
3	-								(0) 0	~	
				<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>		
4	-								(0) 0	~	
				<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>		
5	-								(0) 0	~	
				<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>		
			合 計	(0)	(0)	(10,234)	(0)	(0)	(10,234)		
				0	0	0	15,495	17,330	32,825		
				<0>	<0>	<10,234>	<15,495>	<17,330>	<43,059>		

(注1) 「事業番号」は、「(交付要綱別添1の番号) - (同一事業計画中の同種の事業の通し番号)」となるよう記載する。

(注2) 「事業名」は実施する事業の内容がわかるように任意の名称を記載する。

(注3) 「各年度の交付対象事業費」は、上段()書きは前回までに配分された額を記載し、中段には今回申請する額を記載する。なお、下段< >書き及び総交付対象事業費については、自動計算される。

(注4) 「全体事業期間」は、令和4年度以降に実施することが見込まれる事業については、令和4年度以降も含めて記載する。

(注5) 事業間流用を行った場合には、「備考」に事業間流用を行った旨、その時期及び額を記載する。なお事業間流用を行う場合には、流用する(流用される)事業名も合わせて記載する。

また、福島県については、実施要綱第4 6 - ⑤の一の市町村の区域を超える広域の情報発信等が見込まれる事業を地域区分1・2の市町村(複数市町村でも可)と実施する場合には、「備考」に「市町村連携事業(調整した市町村名を列挙)」と記載する。

(様式 1 - 4)

368 南会津町 地域魅力向上・発信事業計画

令和 6 年度

令和6年1月9日時点

(単位：千円)

No.	事業番号 (注1)	事業名 (注2)	事業 実施 主体	国費率 (a)	当該年度		備 考 (注4)
					交付対象事業費 (b) (注3)	うち交付金交付額 (c) = a × b	
1	A - 1	南会津町魅力発信事業	南会津町	1/2	15,495 <15,495>	(0) 7,747 <7,747>	
2	-				<0>	(0) 0 <0>	
3	-				<0>	(0) 0 <0>	
4	-				<0>	(0) 0 <0>	
5	-					(0) 0	
12	-				<0>	<0>	
				合計額	(0) 15,495 <15,495>	(0) 7,747 <7,747>	

(注1) 「事業番号」は、「(交付要綱別添1の番号) - (同一事業計画中の同種の事業の通し番号) となるよう記載する。

(注2) 「事業名」は、実施する事業の内容がわかるように任意の名称を記載する。

(注3) 上段 () 書きは、前回までに配分された額を記載し、中段には今回申請する額を記載する。なお、下段 < > 書きについては、自動計算される。

(注4) 福島県については、実施要綱第4 6 一 ⑤の一の市町村名の区域を超える広域の情報発信等が見込まれる事業を地域区分1・2の市町村(複数市町村でも可)と実施する場合には、「備考」に「市町村連携事業(調整した市町村名を列挙)」と記載する。

(様式 1 - 5)

南会津町 地域魅力向上・発信事業計画に基づく事業 個票

令和 6 年 1 月 9 日時点

※本様式は 1 - 3, 1 - 4 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	1	事業名	南会津町魅力発信事業	事業番号	A - 1
事業実施主体		南会津町	総交付対象事業費		25,729 千円
既配分類		10,234 千円	当該年度交付対象事業費		15,495 千円
経費区分ごとの費用					
一 地域の魅力向上・発信事業①情報					
① 情報発信事業 小計 15,495 千円					
i) 風評動向調査 千円					
ii) 体験等企画実施 12,771 千円					
iii) 情報発信コンテンツ作成 2,724 千円					
iv) ポータルサイト構築 千円					
②外部人材活用 小計 千円					
i) 企画立案のための外部人材の活用 千円					
ii) 地域の語り部の育成 千円					
二 関連施設の改修					
地域の魅力発信事業と一体的に行うための関連施設の改修 千円					
風評の払拭に関する目標					
令和 8 年度における観光客入込数 120 万人 (平成 22 年度比 100%、令和 4 年度比 200%)					
事業概要					
事業実施主体		南会津町			
主な企画内容		地域特産品の地酒を中心とした南会津町の魅力発信イベント等の実施 旅行雑誌を活用した「南会津旅」の情報発信 インフルエンサーを活用したスキー場等の魅力発信			
主な事業の実施場所		南会津町内及び東京都内			
事業の実施期間		令和 5 年 10 月～令和 8 年 3 月			
企画内容					
【現状・課題】					
<現状>					
・ 東日本大震災による東京電力福島第一原子力発電所事故後 10 年以上が経過したが、風評の影響等で観光客入込数は減少傾向にあり、令和 4 年度の本町の観光客入込数は、震災前の平成 22 年度の約半分まで減少している。					
・ ALPS 処理水の海洋放出が開始されたことにより、新たな風評被害の発生が危惧される。					
・ 南会津町の現状や安全性について情報発信が少ない。					
・ 若い世代への情報発信が弱い。					
<課題>					
・ ALPS 処理水の海洋放出が開始されたことから、新たな風評被害を発生させない取組が必要である。					
・ 南会津町ならではの地域特性が反映された日本酒を中心とした地域の魅力が十分に発信できておらず、認知度が低い。					
・ 画一的な広く浅い情報発信ではなく、産品やターゲットを絞った戦略的な情報発信が必要である。					
・ 優れた地酒や食文化、歴史、自然資源などの本町の魅力について、県外に対する継続的な情報発信が不足している。					

【課題に対するこれまでの取組と成果】

- ・風評払拭、認知度向上のため、これまでは首都圏を中心に実施してきた物産販売や観光 PR イベントを、首都圏のほか、四国や九州でも実施し情報発信を強化した。
- ・アクティブシニアをメインターゲットにする旅の全国誌に南会津旅の記事を掲載し、当町の認知度向上と当町への旅行意欲向上に努めた。
- ・スキー場等の魅力発信では、インフルエンサーにより SNS で情報を発信したことで、これまで当エリアを知らなかった人にも、当エリアの魅力等を広く周知できた。

【今年度事業における具体的な取組内容】

1 地域特産品の地酒を中心とした南会津町の魅力発信イベント及びモニターツアーの実施

実施期間：令和6年5月～令和7年3月

実施体制：南会津町 情報等の提供及び関係機関との連絡調整
委託事業者 イベントの企画運営及びモニターツアーの実施

概算費用：8,481千円（委託費、職員旅費等）

取組内容：

（1）首都圏でのPRイベントによる情報発信

①首都圏での日本酒と南会津町産品を活用したペアリングイベントの実施

東京都で南会津町の日本酒と食材を使用したペアリングメニューイベント（南会津町の日本酒に合わせた南会津町産品を活用したペアリングメニューの提供、蔵元等を交えた交流、PR 動画等による観光紹介など）を開催し、南会津町の食の安全性と美味しさを首都圏の方を中心に理解してもらうとともに、南会津ファンになってもらう。アンケート調査により認知度調査等を実施。都内在住インフルエンサーを含む情報発信者の参加により、魅力発信と認知度向上を図る。

②浅草観光文化センターにおける南会津町のPRイベントの実施

令和6年11月に東京都台東区（浅草観光文化センター）において一定期間（14日間）ポスターの掲示やパンフレットの配付、PR 動画の放映など様々な広報媒体を活用して情報を発信し、南会津町の認知度向上を図る。さらに、南会津町への共感と理解を深めるため、体験イベントを開催する。

（2）モニターツアーの実施

メディアやインフルエンサー等を対象としたモニターツアー（1泊2日を想定）を2回程度開催し、よりコアな情報を発信してもらうことで、首都圏を中心とした県外からの誘客促進につなげる。ツアー内容としては、日本酒と南会津町産品を活用したペアリングイベントの現地開催のほか、酒蔵体験や生産者等との交流イベントなどを行う。

2 ファムトリップおよび旅行雑誌を活用した「南会津旅」の情報発信

実施期間：令和6年5月～令和7年3月

実施体制：南会津町 情報等の提供
委託事業者 ファムトリップの企画運営及びプロモーション

概算費用：4,290千円

取組内容：旅行事業者やメディア関係者、インフルエンサー等を対象としたツアー（ファムトリップ）を開催し、南会津町ならではの「食」「文化」「歴史」「自然」に触れる旅を体験してもらう。参加者からアンケート調査等で意見を聴取し、それを基に旅行商品の磨き上げを図るとともに、インバウンド向け旅行商品造成の促進を目指す。さらに、引き続き旅行雑誌への南会津旅の記事を掲載するなどプロモーションを強化することで、南会津町への旅行意欲を喚起し、誘客促進と風評の払拭につなげる。

3 インフルエンサーを活用したスキー場等の魅力発信

実施期間：令和6年10月～令和7年3月

実施体制：南会津町 情報等の提供
委託事業者 インフルエンサーの選定及び連絡調整、交流イベントの企画運営
インフルエンサー 現地取材及び情報発信、交流イベントへの参加

概算費用：2,724千円（委託費）

取組内容：インフルエンサーに実際に町内の4スキー場を訪れてもらい、スキー場や宿泊施設等の魅力のほか、食のおいしさや安全性などについて引き続き情報を発信してもらい、風評の払拭とスキー場への誘客促進を図る。

さらに、「知ってもらう」から「来てもらう」につなげるため、インフルエンサーとの交流イベントを開催し、来場者の増加につなげる。

情報発信の回数については、各スキー場3回程度、スキー場以外の施設や特産品等 PR3回とし、合わせて15回発信し、交流イベントについては、各スキー場で1回開催することとし、全体で4回の開催を想定。

【今年度事業における目標】

【アウトプット】

- ・南会津町の日本酒と食材を活用した会食イベントを開催 1回
- ・首都圏での南会津町の特産品・地酒 PR イベントの実施 2回
- ・酒蔵体験などを盛り込んだモニターツアーの開催 2回
- ・ファムトリップの実施回数 1回
- ・インフルエンサーによるスキー場の情報発信回数 15回以上
- ・インフルエンサーとの交流イベントの開催回数 4回

【アウトカム】

- ・首都圏イベントの参加者数 1,000人以上
- ・ファムトリップ参加者数 15名
- ・インフルエンサーが発信する情報への接触者数 10万人
- ・インフルエンサーとの交流イベント参加者数 200人

【今年度、事業の実施により得られる効果】

- ・首都圏の有名シェフが開発した南会津町の日本酒及び食材を活用した創作ペアリングメニューを提供するとともに、酒蔵等の地元関係者から正しい産地情報を直接発信する機会を設けることで、風評払拭と新たな南会津ファンの獲得が期待できる。
- ・浅草観光文化センターにおける南会津町のイベントの実施により外国人観光客への PR にも期待ができる。
- ・メディアやインフルエンサー等を対象としたモニターツアーを開催することで南会津町の認知度向上が期待できる。
- ・ファムトリップを開催することで、旅行商品の磨き上げが図られるとともに、インバウンド向け旅行商品造成の促進が期待できる。
- ・知的探求心が強く、可処分所得が高いアクティブシニアをメインターゲットにすることで、南会津町への誘客促進が期待できる。
- ・インフルエンサーとの交流イベントを実施することで、インフルエンサーとの交流を目的とした来場者の増加が期待できると同時に、SNS で町の情報が発信されることで、若い世代を中心とした多くの人に町の正確な情報や魅力をタイムリーに伝えることができる。

【次年度以降の取組】

- ・モニターツアーや日本酒と地元食材を使ったペアリングイベントを継続するとともに、南会津町を「知ってもらおう」「食べてもらおう」「来てもらおう」から、南会津町と「つながる」ことができるツアーコンテンツを造成する。
- ・ファムトリップ参加者の意見等を反映させながら実際に旅行商品を造成するとともに、新聞折込広告や SNS 広告、旅の全国誌への旅行記事の掲載などプロモーションを強化する。
- ・インフルエンサーによる情報発信を継続するとともに、スキー場への県外者の誘客促進につながるようなインフルエンサーを活用した交流イベントを開催する。